

県民生活・土木交通常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成 30 年 11 月 6 日（火）～ 8 日（木）

2 調査の概要

（1）11 月 6 日（火）

○さいたまスポーツコミッション（埼玉県さいたま市）

さいたまスポーツコミッションは、平成 23 年 10 月に、スポーツ振興と地域経済の活性化を目的に設立されて以降、自転車競技イベント「ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」の誘致・支援を行っているほか、各種のスポーツ大会等に係る会場の確保・調整、広報支援など、スポーツ大会等に対する様々な支援の取り組みを進めている。

本県においても、平成 36 年に国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を予定しており、スポーツボランティアをはじめとするスポーツを「支える」活動の推進、スポーツを通じた健康づくりや地域活性化の取り組んでいることから、今後の審議の参考とするため、さいたまスポーツコミッションの取り組みについて調査を行った。



（2）11 月 7 日（水）

○総合スポーツゾーン（栃木県宇都宮市）

栃木県においては、現在、平成 34 年の第 77 回国民体育大会の開催に向け、県民総スポーツの推進拠点として「総合スポーツゾーン」の整備が進められている。

「総合スポーツゾーン」のエリア内では、硬式野球場、合宿所など既存施設の改修が行われるほか、新たに、陸上競技場、体育館、武道館、屋内水泳場等が整備される計画となっている。

一方、本県においても、現在、平成 36 年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、各スポーツ施設の改修・整備を進めているところであり、今後の審議の参考とするため、「総合スポーツゾーン」の整備状況や国体での利用の計画等について調査を行った。



○国営ひたち海浜公園（茨城県ひたちなか市）

国営ひたち海浜公園においては、年間を通じて多様な植物が観賞できるほか、広大な園内には、遊園地「プレジャーガーデンエリア」やサイクリングコース、林間アスレチック、バーベキュー場など、多様化するレクリエーション需要に対応した様々な施設が整備されており、全国的にも高い認知度を誇っている。

そうした中、現在、同公園では、プレジャーガーデンエリアの改修、設置および管理運営をPFI事業により行うことが計画されており、平成31年度から改修等が行われる予定となっている。

一方、本県においても、都市公園の質と公園利用者の利便性の向上を図るため、民間活力による都市公園の活性化の推進を目指しているところであり、今後の審議の参考とするため、国営ひたち海浜公園の運営の状況および民間資本の活用状況等について調査を行った。



（3）11月8日（木）

○ひたちなか海浜鉄道株式会社（茨城県ひたちなか市）

ひたちなか海浜鉄道株式会社は、平成20年に発足した第三セクター方式の鉄道事業者であるが、平成29年度決算においては黒字化を達成し、現在は、国営ひたち海浜公園までの路線延伸も計画されている。

また、同社における地方鉄道経営と地域運営に関するノウハウは、「ローカル鉄道・地域づくり大学」において、市民、行政担当者、大学教員などの様々な参加者に公開されており、こうした取り組みは、2017 年度グッドデザイン賞も受賞している。

本県においても、信楽高原鐵道、近江鐵道といった地方鐵道が運行を行っているが、地域における公共交通の維持および活性化は、重要な課題となっているところであり、今後の審議の参考とするため、ひたちなか海浜鐵道株式会社における取り組みの状況等について調査を行った。

